

平成15年度（2003年度）学校自己評価

中間評価集約

長野県梓川高等学校

本校では、教育目標及び年度重点目標を設定し、より良い学校づくりを推進しています。年度重点目標の具現化に向けた日常の教育活動について、自ら点検をし、改善すべき点を明らかにするとともに、その改善策、更なる発展をめざしての向上策を作成し、教育実践をしています。年度途中の評価及び改善策・向上策は次のとおりになっています。より具体的な対策については、校内担当分掌を中心に鋭意検討しております。広く皆さんからご意見をいただき、本校の教育活動の充実と発展を図っていきたく思います。ご意見等ございましたら、Eメールでお寄せください。

□ 教育目標

- (1) 自主性・協調性を培い、自ら学び自ら考える力を伸ばす。  
自主的・自律的に学校生活に取り組む校風、態度を形成する。  
生徒個々の学習意欲を高め、学習習慣を定着させる。  
基本的生活習慣の確立を図り、倫理観や規範意識を高める。
- (2) 一人ひとりを大切にし合い、夢や希望を育み、個性を伸ばす。  
基礎・基本を確実に習得し、創造性を高め、個性を伸ばす。  
夢や希望、能力・適性、進路に応じた目標をもち、自己実現を図る。  
向上心をもって共に学び合い、思考力、判断力、表現力を伸ばす。
- (3) 心豊かで、たくましく生き抜く人間となる。  
幅広い学習体験や特別教育活動に取り組み、人間性と社会性を育む。  
人間尊重の精神、信頼と友情に基づく連帯感を育む。  
地域社会の要望に応え、社会に貢献できる人間となる。

□ 本年度重点目標

- (1) 基礎・基本の確実な定着と個性の伸長を図る。  
生徒一人ひとりの能力、適性、興味・関心に応じた習熟度別授業・少人数授業を実施するとともに、補習授業及び個別指導の充実を図る。  
生徒一人ひとりが学習目標・進路目標をもち、自己の課題に意欲的に取り組むように努める。  
体験的な学習、問題解決的な学習の充実を図る。  
授業・学習指導法の改善を図るために校内研修を行う。
- (2) 創意ある教育活動、活力ある学校づくりに努める。  
コース制（人文社会、自然科学、福祉コミュニケーション、情報ビジネス）の充実と発展に努めるとともに、特色ある教育課程の編成を行う。  
「総合的な学習の時間」の充実を図るために、継続して研究・実践を行う。  
生徒の希望や願い、夢を受け止め、対応できる生活指導・相談体制を確立する。  
学校自己評価を実施し、教育活動の向上及び教育課程の改善に努める。  
同僚性を確保し、教職員の教育的力量を高め、創意あり活力ある学校づくりに努める。  
生徒・保護者・教職員懇談会の充実を図り、より良い学校づくりに努める。  
生徒の自主活動に適切な助言と指導を行い、責任感・主権者意識を育てる。  
生徒が生き生きと活動できる学習環境を整える。
- (3) 開かれた学校づくりと家庭・地域との連携協力を図る。  
学校評議員制を推進するとともに、梓川高校教育懇談会の開催と充実を図る。  
本校の教育活動に関する情報や資料の公開・提供に努める。  
地域の人材及び施設等の活用をするとともに、「学校支援人材バンク」の充実を図る。  
「地域モニター」との連携協力を図る。  
地域住民を対象とした公開授業に積極的に取り組む。  
学校支援組織「梓川高等学校を支える会」の充実を図る。  
波田中学校をはじめとする町内5校と交流を推進する。  
校外清掃活動、町内の福祉施設等でのボランティア活動を推進する。

□ 中間評価

・ 評価項目の数字は、重点目標の項目番号になります。

領域	対象	評価項目	評価の観点	現段階の成果と課題	改善策・向上策
		(1) 個に応じた授業	生徒一人ひとりの能力、適性、興味・関心に応じた習熟度別授業・少人数授業を実施しているか。	英数の習熟度別授業やコース等での少人数制授業は、効果をあげている。しかし、ホームルーム単位等の授業において、生徒の実態から指導上の問題がある。	来年度に向け、教育課程の編成とあわせ、職員定数を考慮し、選択科目の開講講座を検討し、可能な範囲での少人数制授業を実施する。 進学補習などを実施し、向上心のある生徒の要望に応える。

教育課程	(2)	コース制の充実	生徒の実態及び地域の要望を踏まえ、コース制の充実と発展に努めているか。	コース制導入2年目、はじめて2・3学年においてコース別授業が行うことができた。また、コース制について中学生などから関心もってもらえるようになってきた。 教育課程委員会では、生徒の希望アンケート（予備調査）を実施し、来年度コース内の開設科目及び開設講座を検討している。 生徒の実態や要望及び地域の声を聞きながら、より充実したコース制にする余地がある。	教育課程委員会を中心に、コースの意義及び各コースの目的を検討し、全職員で本校に相応しいコース制を目指す。
	(2)	特色ある教育課程の編成	生徒の実態及び地域の要望を踏まえ、特色ある教育課程の編成に取り組んでいるか。	コース制を導入することによって、特色ある教育課程を編成している。しかし、生徒の実態・要望を踏まえながら、より充実した特色ある教育課程を編成していく余地がある。	基礎基本の確実な定着とコース制の充実を目指す。
学習指導	(1)	個に応じた指導	補習授業及び個別指導の充実が図られているか。	進学補習は長期休業中を中心に行っている。また、小論文指導等日常的に行っている。 学校全体として、補習授業のあり方及び態勢について検討する必要がある。	学校全体としての補習授業のあり方及び態勢について、検討し、生徒の願いや希望に応えると共に、基礎学力の向上に資する。
	(1)	学習目標の確立と自己実現	生徒一人ひとりが学習目標をもち、自己の課題に意欲的に取り組むよう指導され、その体制が確立されているか。	目的意識のある生徒と無目的な生徒の学習への取組に画然とした差が生じている。 学習指導と生活指導の一体化を図り、指導体制を構築する必要がある。	各科目の学習目標を明示し、その意義を明らかにし、理解させる（シラバス作成）。 学習方法を身につけさせ、また学習姿勢を確立させるために、具体的実践事項を決め指導を行う。 授業の改善に向け、校内研修を行う。
	(1)	体験的な学習・問題解決的な学習の充実	体験的な学習、問題解決的な学習の充実が図られているか。	総合的な学習の時間及び各コースの科目において実践されている。また、就業体験学習の公募に対し、自主的に参加した生徒がいた。また、学校外の学修の単位認定として、「就業体験学習」を位置付けた。	これまでの取組をもとに、創意ある学習活動を検討し、実践していく。
	(2)	「総合的な学習の時間」の充実	「総合的な学習の時間」の充実を図るために、継続して研究し、実践されているか。	「自ら調べ学び発表する」ことについて、一定の成果があった。しかし、学習内容が多岐にわたり、教材開発及び準備の時間と労力を要している。また、内容が網羅的な面もある。	この2年間の実践を総括し、3年間、系統的・体系的に学習できるように内容及び指導体制を再検討する。また、次年度計画案を早めに立て、該当学年・教科等と検討する。
	(2)	指導の充実と体制の確立	生徒の希望や願い、夢を受け止め、対応できる生活指導が行われ、その体制が確立されているか。	校外の巡視など臨機応変な対応で、正義感を持つ生徒にも信頼される体制ができていく。しかし、基本的な生活習慣が身につけていない生徒もいる。	基本的な生活習慣の確立に向け、いくつかの実践項目を設定し、学校として具体的に行動する。また、生徒会との連携を図る。
生活指導	(2)	相談体制の充実と確立	生徒の希望や願い、夢を受け止め、対応できる相談が行われ、その体制が確立されているか。	指導体制が確立され、カウンセラー等外部との連携が図られている。	校内研修を実施するなど、職員の生徒理解を高める。
	(1)	進路目標の確立と自己実現	生徒一人ひとりが進路目標をもち、自己の課題に意欲的に取り組むよう指導され、その体制が確立されているか。	体験報告会・説明会・企業見学などを通して、目的意識をもち、進路を実現する生徒が増えている。 目標のない生徒への対応、基礎学力の充実、1年からの系統だった指導などが求められる。	学年との連携を密にし、1年次から体験学習や見学等を含め、動機付けを図る。
ク ラ 徒 会	(2)	自主性を育てる指導	生徒の自主活動に適切な助言と指導を行い、責任感・主権者意識を育てられているか。	日常的問題に目を向けるなど、生徒会活動は活性化している。 生徒会と職員会との情報の共有・連携のあり方など検討の余地がある。	「梓川高校をより良くする」ために、生徒会との連携協力を進める。 生徒会の活動状況等について、時宜に応じて職員の共通認識を図る。
	(2)	学校自己評価の実施	学校自己評価を実施し、教育活動の向上及び教育課程の改善が行われているか。	本年度より本格的な取組であるが、これまでの実践をもとに、年間計画・システムを構築し、この中間評価・授業アンケートなどを実践できた。県内的には到達度は高いと思われるが、創意ある学校自己評価を行うために、研究及び検討の余地がある。	本校に相応しい学校自己評価活動を行うために、一層の研究・検討と実践を行う。

組織運営	(2)	同僚性の確保と教育的力量の向上	同僚性を確保し、教職員の教育的力量を高め、創意あり活力ある学校づくりに努めているか。	教科により差はあるが、教科内において教材研究等を行い、教育的力量を高めている。 しかし、日常的な多忙化と相俟って、教職員相互のコミュニケーションがやや不足している。	教科指導における専門家集団として教科会を位置づけながら、個々の教育力を高める。また、校内研修の充実を図る。
	(2)	生徒・保護者・教職員懇談会の充実	生徒・保護者・教職員懇談会の充実を図り、より良い学校づくりが推進されているか。	三者がそれぞれの立場から意見を言う機会ができた意義は大きい。まだ著に付いたばかりであり、今後の会の充実を図る。	三者懇談会の意義・目的を再確認し、正式な実施要項を策定する。また、テーマ及び内容について、事務局が中心となって、生徒会執行部・PTA役員と検討していく。
地域との連携	(3)	学校評議員制の運用と教育懇談会の充実	学校評議員制の運営が円滑に行われているか。	学校評議員連絡会において本年度重点目標・本校の現状等に対し意見聴取及び懇談を行い、公開授業・梓水祭等の学校行事に参加いただいた。 他の校務と重なったこともあるが、学校評議員連絡会への職員の参加が若干少なかった。	年間計画に従い、個人意見聴取等を行う。
			梓川高校教育懇談会の開催と充実が図られているか。	10月22日（水）に開催し、意見の検討をすすめている。	波田町行政及び教育・福祉関係者、近隣村教育長、地域住民、松本電鉄(株)、近隣商店の方々のご出席を得て、10月22日（水）に開催した。 いただいたご意見については、校内で十分に検討し、実行できることについては、実行する。今後の会の充実を図って
	(3)	情報提供	本校の教育活動に関する情報や資料の公開・提供がなされているか。	ホームページの更新、E-mail通信「梓川高校通信」の創刊（月1回送信）を行っている。中学校からは好評を得ている。内容の充実を図りたい。 地域住民へは、マスコミ等を通じ、情報提供を行っているが、学校独自の方法を検討する余地がある。	各分掌・クラブ顧問等が、教育活動に関する情報及び原稿提供を教務係・情報処理係に行うなど、全職員の協力を図る。
	(3)	地域の教育力の活用	地域の人材及び施設等の活用をするとともに、「学校支援人材バンク」の充実が図られているか。	波田町各施設をはじめ、本校の教育活動にご協力いただいている。 「学校支援人材バンク」の活用について検討を要する。	波田町各施設及び松本短期大学との連携協力を推進する。 「学校支援人材バンク」について、本校の教育実践との有効性あるあり方を検討する。
	(3)	「地域モニター」の活用	「地域モニター」との連携協力が図られているか。	地域モニターとの連携・協力について、具体的な取組が不十分である。	地域モニターとの連携・協力の具体的な取組を検討し、実行する。
	(3)	公開授業の開催	地域住民を対象とした公開授業に積極的に取り組めたか。	公開授業を計画し、マスコミ等を通じ紹介をしたが、参加者が少なかった。	公開授業のあり方の検討に加え、開かれた学校づくりの視点から検討をする。
	(3)	「梓川高校を支える会」の充実	学校支援組織「梓川高等学校を支える会」の充実が図られているか。	各首長のご理解の下に、正式に、「支える会」が発足した意義は大きい。本校の現状をご理解いただきながら、会の充実を図る。	本校の現状の一層のご理解をえながら、地域との連携を深め、教育活動をとおして地域への貢献を図る。
	(3)	町内5校との交流	波田中学校をはじめとする町内5校と交流を推進しているか。	10月29日に5校交流会を開催。 可能な範囲で波田中学校の公開授業への参加をしている。	特に波田中学校とは親睦を深める域にとどまらずに、教科研修等を検討していきたい。
	(3)	地域への貢献	校外清掃活動、町内の福祉施設等でのボランティア活動が行われているか。	校外清掃の年間計画を立案し、実行している。また、JRC部はボランティア活動に取り組んでいる。	波田町及び地域住民の要望等を受け止め、本校として可能な活動を検討し、実践する。
	校内	(1)	授業・学習指導法の改善	研修会及び公開授業は、授業・学習指導法の改善を図るための研修となったか。	公開授業週間の設定、授業アンケート実施、授業改善・教育改革についての校内研修を実施（実施内容等についてアンケート実施中）。

研修	(2)	生徒理解	生徒の希望や願い、夢を受け止め、対応できる生活指導・相談体制を確立するための研修となったか。	学校カウンセラーによる研修を12月17日(水)に実施する。	学校カウンセラーによる研修を12月17日(水)に実施する。
施設設備	(2)	学習環境の整備	生徒が生き生きと活動できる学習環境が整備されているか。	教室内の清掃・美化を中心とした学習環境を高めたい。 情報機器関係をはじめ施設設備の充実が望まれる。	日々の清掃の一層の強化と生徒会整美委員会との連携を図る。 施設設備に関しては、予算等を考慮しながら、計画性をもって整備に努める。